

月探査活動に向けた地上局の情報提供依頼

2023年3月16日

JAXA 国際宇宙探査センター

1. 月探査活動に向けた地上局の情報提供依頼(1/2)

月探査活動に向けた地上局の情報提供依頼を実施します。

● 目的

2020年代後半にJAXAが有する月探査ミッションに利用するため、既存もしくは新規の地上局（国内外）の利用及び地上局リソースの提供、地上局運用の可能性について広く情報を募ります。

● 情報収集方法

JAXA公開サイト(Microsoft Forms)を通じて、情報提供をくださった方々へ必要に応じて順次ヒアリングを行い詳細情報を収集させていただきます。

● Microsoft Formsを通じた情報提供の依頼事項

以下の内容について、情報提供をお願いします。一部のみ情報提供でも結構です。

A. 月探査活動に向けた地上局

2,3項に示す地上局仕様、利用要求（利用期間・延べ利用時間）について、一部または全部を満たす国内外地上局の性能仕様及び利用可能な時期等に関する情報。
尚、地上局は、既存設備、既存設備に能力付加、新規設備の設置(計画、構想段階含む。JAXAが設置するものではない)の使用、のいずれも対象。

B. 月探査活動に地上局を用いる際の利用方法

JAXAが地上局リソースを使用する際の運用形態（「地上局設備貸与（運用は利用者が実施）」or「回線サービス提供(運用も含めたサービス提供)」or「その他」）に関する情報。

1. 月探査活動に向けた地上局の情報提供依頼(2/2)

本情報提供依頼について、以下の日時で説明会を実施します。

- **説明会**

2023年 4月 7日(金) 10:00~11:00 (オンラインでの実施)

また、ご希望がございましたら、説明会同日に**個別相談会**を実施させていただきます。

説明会および個別相談会に参加ご希望の方は、以下の事務局までご連絡ください。

月探査活動に向けた地上局の情報提供依頼 事務局 : JSEC-GSRFI@jaxa.jp

2. 地上局仕様

情報提供依頼を行う地上局仕様を以下に示します。

● 地上局仕様

月探査ミッションはX帯、Ka帯での運用を基本とする想定です。X帯アップリンク/ダウンリンク、Ka帯アップリンク/ダウンリンクの一部または全部の機能を有する地上局を情報提供依頼の対象とします。

① 既存地上局についての要求仕様

対象の地上局の周波数、アンテナサイズについて、表1を参照ください。

表1

		X帯	Ka帯
周波数	送信	7190-7235 MHz	22.55-23.15 GHz
	受信	8450-8500 MHz	25.5 -27 GHz
アンテナサイズ		Φ11m級以上	Φ5m級以上

② 新規地上局整備の場合の地上局要求仕様

- 新規に地上局を整備する場合は、表2の性能を参考としてください。必要に応じて個別のヒアリングの中で機能性能要求について意見交換させていただきます。

表2

	X帯	Ka帯
送信EIRP	86dBW以上	89dBW以上
受信G/T	39dB/K以上	47.5dB/K以上

3. 地上局の利用要求

● 地上局の利用要求

- 利用期間 : 2027年頃から2040年頃までを想定しています。
(運用前の確認期間約1年を含む)
※一部の期間の提供でもかまいません。
- 延べ利用時間 : 合計最大10000時間/年を想定しています。
(ゲートウェイ, 有人与圧ローバ、月探査促進ミッションなど複数の運用を想定)
※一部の時間の提供でもかまいません。